

# 藤沢市 令和2年度事務事業評価シート簡易版(令和元年度分)

No. 1

事務事業名	北部第二(三地区)土地区画整理事業費特別会計										担当課	部課名	都市整備部北部区画整理事務所			
予算科目コード	会計	13	款	0	項	0	目	0	細目	00	説明	0	課等の長	大月 梓	電話	6581

## 1. 事業概要

事業開始年度	平成 3 年度	終了(予定)年度	令和 17 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	安全で快適な地域まちづくりを推進するため、産業と住宅が共存できる土地利用の実現に向けて、県道藤沢厚木線他6路線の都市計画道路及び区画街路等の整備により交通体系を確立するとともに、秋葉台運動公園をはじめ10箇所の公園、下水等都市基盤の整備による健全な市街地の造成を目的に275haにわたる区域の土地区画整理事業を推進する。						
対象	1. 個人	市民					433,060 人
根拠法令等	法律等	土地区画整理法					
事業実施内容	整備に支障となる建物等の移転49戸及び仮換地の造成34,415㎡、街路の築造1,596m等の整備工事を実施し、事業の進捗を図った。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : (株)日測 神奈川支店など ) (委託等内容 : 測量管理委託 ) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金 : 企業庁水道局など ) <input type="checkbox"/> その他 ( )						

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 2,829,356 千円	事業費節別内訳		主な事業内容		
		費目	支出済額 (千円)			
		業務委託費	195,587 千円		測量管理委託	
		工事費	390,353 千円		街路築造工事, 造成工事	
		補償費	1,543,079 千円		建物移転 49戸 用地補償 15ha	
		工事負担金	149,513 千円		特別給水装置工事負担金	
財源内訳	R元年度 支出済額 2,829,356 千円	事業費節別財源内訳		3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)		
		費目	支出済額 (千円)			
		分担金・負担金	0 千円		令和元年度	
		使用料・手数料	286 千円		正規職員等	24.00
		国庫支出金	626,911 千円		再任用短時・任期付短時職員	0.00
		県支出金	173,315 千円		非常勤職員	0.00
その他 (繰入金, 起債)	1,954,844 千円	合計	24.00			
一般財源	74,000 千円	※正規職員等=正規職員+再任用職員(短時以外) +任期付職員(短時以外)+常勤嘱託職員				

## 4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度			
コスト 支出	行政費用 A	2,332,046	2,853,564	3,942,411	3,079,033			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	2,336,097	2,858,590	3,932,516	3,078,825			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	2,119,220	2,642,633	3,684,328	2,829,356			
	償還金利息	18,087	16,555	16,920	16,221			
	人件費合計(①+②+③)	198,790	199,402	231,268	233,248			
	①職員給与合計(常勤)	187,900	190,449	220,008	219,384			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	10,890	8,953	11,260	13,864			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-4,051	-5,026	9,895	208			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-4,051	-5,026	9,895	208			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他 ( )	0	0	0	0			
	市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	5485.81	425,105	6674.99	427,501	9182.98	429,317	7109.95

成果実績	指標名	使用収益開始面積	目標	2.0	単位	2.5	単位	2.5	単位	2.5	単位
					ha		ha		ha		ha
	実績	実績	実績	1.9	単位	3.1	単位	1.3	単位	4.0	単位
					ha		ha		ha		ha
数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由			事業の進捗により、歩行者専用道路の整備による歩行者の安全確保、安全な通学路の確保等、住環境の向上が図られている。また、都市計画道路の整備により、沿線への店舗の出店が促進された結果、地域の活性化につながっている。								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			1,227,392,631.58	920,504,516.13	3,032,623,846.15	769,758,250.00					

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員、再任用職員、任期付職員、嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部日額報酬の非常勤職員を含む）  
 ※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部日額報酬を含む）の年度合計額  
 ※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

### 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	平成29年度に実施した事業の見直しにおいて、円滑な進捗を図る方策として、事業区域内を5カ年毎の4期に区分し、的確な進捗管理を図る手法を策定した。現在、第1期3年目を終えたところであるが、今後も整備計画に基づき事業を推進するとともに、随時、進捗状況を確認し、事業管理を徹底していく必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	地権者との移転交渉に際し、移転先仮換地の整備はもとより、速やかな移転を実現させるため、地権者の土地利用形態を考慮した整備を行う。 また、整備計画に基づき事業を推進するとともに、3ヶ月毎の進捗状況確認を基本とし、事業管理を徹底していく。

### 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	5カ年毎の整備計画に沿った進捗管理のもと、支障物件の移転や仮換地先の造成、公共施設の整備等を実施し、事業の進捗が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	都市計画道路石川下土棚線の整備はもとより、都市計画道路高倉遠藤線の幅員用地確保のための補償業務を展開する。また、秋葉台公園用地の確保につながる換地設計を整える。 さらには、事業の自主財源である保留地処分金の安定的な確保に向けて、整備済都市計画道路の沿道街区の整備を進め、地権者の土地利用の促進及び保留地の確保に努める。	

### 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
1	事業計画に関すること	無	無	1	
2	換地計画及び換地処分に関すること	無	無	1	3
3	補償担当業務に関すること	無	無	1	
4	事業施行区域内の街路築造工事の設計と監督	無	無	3	3
5	事業施行区域内の敷地造成工事の設計と監督	無	無	3	3
6	区画整理事業区域内施設等の修繕ほか作業に関すること	無	無	3	3
7	事業施行区域内の造成等に伴う擁壁築造に関する事務	無	無	1	
8	開発行為等の事前協議及び建築行為等の受付審査に関すること	無	無	1	1
9	審議会の運営及び評価員に関すること	無	無	1	3
10	仮換地証明等手数料の受領・集計・調定・入金に関すること	無	無		1
11	保留地処分に関すること	無	無	3	3
12	事業施行区域内の公共下水道工事の設計と監督	無	無	3	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。  
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	都市整備部	氏名	川崎 隆之	確認日	2020/7/7
----	-------	----	-------	-----	----------

1 - 2